

2016年10月17日の経営会議の概要

日時 : 2016年10月17日(月) 午前9時30分~午前10時

会場 : 政策会議室

委員・幹事 : 市長、高橋副市長、山田副市長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、総務課長、職員課長、財政課長

説明 : 議題1 都市整備担当部長、地区街づくり課長

議題1 : 鶴川駅周辺再整備基本方針の策定について(都市づくり部)

【付議の目的】

○鶴川駅周辺再整備基本方針の策定について、承認を受ける。

【提案の概要】

鶴川駅周辺は、鶴見川、香山緑地などの水とみどりに囲まれ、川崎市、横浜市などの市外も含めた一帯の拠点として、町田市市の文化、交流の核となる「東の玄関口」である。

駅北口は、1960年代から行われてきた土地区画整理事業により駅前広場や道路などが整備され、沿道に中高層建築物が建ち並ぶ市街地が形成された。しかし、周辺の市街化やこれに伴う人口の増加により、1日乗降客数約6万8千人が利用する現在の北口広場では交通需要に対応できていない。また、駅南口は、道路や下水道が未整備であり、駅前として適切な土地利用が図られていない。

2018年度には、小田急線東北沢~世田谷代田間複々線化事業の完成により、鶴川から新宿方面の速達性が格段に向上することを契機ととらえ、「選ばれるまち鶴川」として、鶴川団地の再生、香山緑地の整備などと併せて、駅周辺整備を進めることが急務となっている。

「鶴川駅周辺再整備基本方針」は、人口減少を見据えた既成市街地の更新の取組みとして、民間活力の導入促進と都市基盤整備を計画的に行うことで、町田市市の副次核にふさわしい活力と魅力にあふれた街づくりの実現を目指す。

【主な意見】

○北口広場再整備事業については、駅利用者の利便性の向上、バスを含めた車両の出入りの円滑化、歩行者の安全配慮に配慮し、事業を実施すること。

○隣接する川崎市や小田急電鉄、他の関係事業者、関係部署等と十分に連携・調整すること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。